一般質問 要旨

セーフコミュニティ、認証取得で新たなスタート

―「今日も無事でいてほしい」をキャッチフレーズに国内二番目の認証取得―

第三回定例会での市政に対する一般質問は、九月十四日、十五日の二日間行われ、八人の議員が登壇した。高校、大学相撲大会、新型インフルエンザ、職員の育成、今後の市財政、小学校のスポーツ活動、セーフコミュニティ、観光ガイドブック、ごみの減量対策、医師確保策など、活発な議論が展開された。要旨は次のとおり。

一般質問者紹介

工藤正廣
岩城康一郎
畑山親弘
桜田博幸
舛甚英文
野月一博
鳥越正美
杉山道夫
（発言順）

注）発言順と掲載した順序とは一致しません。

総務文教

今後の市財政について

質問　平成二十年度病院事業の資金不足による市の平成二十二年度予算編成への影響について伺いたい。

答弁　昨年度末に策定した病院改革プランに計上した一般会計からの支援策は、今後の予算編成への影響を考慮したもので、その額は可能と判断した最大級のものとなっている。

　また、改革プランでは、平成二十年度の資金不足も見込まれており、この点からは平成二十二年度の予算編成への影響はないと考えている。

　しかし、今年度以降の改革プランの実績次第によっては影響が出てくる可能性も否定できないことから、第一義に病院改革プランの着実な実施に取り組んでいかなければならないと考えている。

高校、大学相撲大会について

質問　高校、大学相撲十和田大会の開催について今後の考えを伺いたい。

答弁　高校、大学相撲大会の事業費は、大会運営補助金の減額や経済不況の影響で協賛金収入の減額など年々縮減されているが、大会運営経費の節減や見直しをしながら実施している。両大会とも回数を重ね、全国的にも伝統ある大会として関係者から高い評価を受けており、当市の夏の一大イベントとしても定着している。今後も大会の効率的な運営をしていくとともに、特に財政的支援のあり方も含めて関係機関と協議、検討しながら、両大会の継続実施に向けて取り組んでいきたい。

今年の高校相撲大会より

行政改革について

質問　五年間の行政改革での成果と次年度からの第二次行政改革の基本的な考え方を伺いたい。

答弁　事務事業の再編、民間委託等の推進、給与の適正化等における取り組み項目の実施状況については、項目二百三十七のうち二百四項目が実施済みとなり、進捗率は八六・一％となっている。

　行政組織の見直しについては、四年間で八課四室二十四係を廃止し、行政組織の簡素合理化を図っている。

　定員管理の適正化については、削減目標六十四人に対して、既に九十三人の削減が図られ、大幅な減となっている。

　経費節減等の財政効果については、計画額四十四億二千五百二十八万円に対して、四十億八千九百二十一万円の財政効果があり、進捗率は九二・四％となっており、これまでの取り組み状況はおおむね計画どおり、または計画以上の成果を上げている。

　これまでの行政改革はどちらかというと量の改革に重点を置いて取り組んできたが、第二次行政改革では量の改革もさることながら、質への改革を目指すとともに、市民の力を十分に生かす行政の実現、資産を効果、効率的に生かす行政の実現という二つの新たな視点から、取り組みを進めることとしている。

パブリックコメント制度について

質問　パブリックコメントの現状と今後について伺いたい。

答弁　パブリックコメント制度は、政策立案過程で広く意見を把握するための手段として、また政策に係る市行政の説明責任を果たす手段としても有効な手法の一つであり、加えて住民の行政運営への参加が推進されるなどの効果も期待できると考えている。このことから、市ではこれまで総合計画を始め、市民憲章の制定などについて、市民からの意見募集をしているが、さらに全庁的な取り組みをするため、パブリックコメント制度の対象とする政策、公表の時期や方法、提案された意見の取り扱いなどを要綱等で定め、制度化していきたい。